

与那城庁舎の跡利用案

日時：平成25年8月29日(木) 19:00~
 場所：与那城庁舎 3階第二会議室
 参加人数：21名(事前見学会参加1名)

茶 チーム

現状分析と課題の抽出

- 島しょ地域への入口として位置している
- ロケーションに優れている
- 平成6年の建築であり、築年数が浅い
- 観光地として日本中から注目を浴びている
- 旧与那城町民の拠点となっている

強み

- 防災設備を整えなければいけない
- 1階部分が暗い
- 延べ面積が広いので、大きな事業などを導入する必要がある
- 周辺施設との連携が難しい

弱み

- 海中道路を目的に多くの観光客が訪れている
- スポーツ大会の開催、マリンスポーツが盛ん
- 体育施設が隣接している
- 与勝地域のほぼ中央に位置し、周辺に公園などがあることで利用しやすい
- 海を利用した地場産業の活用ができる
- 過疎化地域対策を国が検討中
- 地域医療発祥の地である
- 風光明媚で周辺に施設が整っていることから、教育研究の環境に適している

チャンスとなる要因

- 観光客の多くは通過するのみ
- 海拔3mであり、防災性に欠ける
- 宿泊施設が周辺に少ない
- 公共交通、アクセスが悪い
- 合併後の地域格差が甚だしい
- 行政機能が低下している
- 地場産業が少ない、働く場が少ない
- おやはし館やホテルが近くにあることから、採算性の取れる事業が少ない

障害や困難となる要因

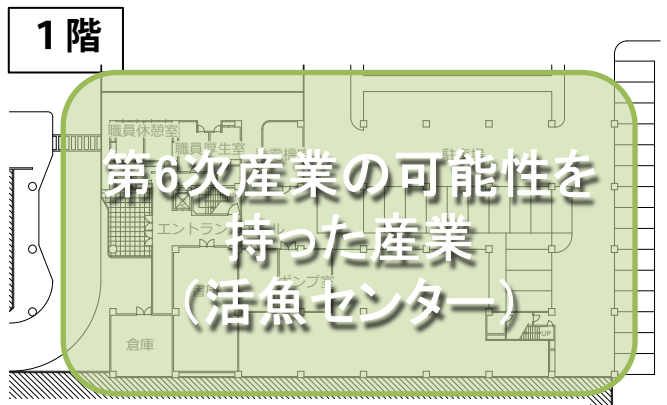
求められていること

- 《地域意見交換会及び地区意見交換会》
 - ロケーションを活かしたリゾート施設(複合的施設、宿泊施設、ヨットハーバー)
 - 人が集まる施設(商業施設、観光関連施設、健康増進施設)
 - 市民が集まり活動できる施設(若い世代と高齢者の交流)
 - 伝統芸能を披露できるスペース
 - ファーマーズマーケット、公設市場、食堂、消防署
 - 病院 ■企業への貸出 ■与那城庁舎と勝連庁舎との統合
- 《庁舎の跡利用に関する市民アンケート》
 - 地元の雇用を生む場や多くの人が集まり賑わいを生む場、便利で豊かな場所
 - 道の駅などの観光施設、飲食店や生活用品を購入できる商業、市民サービス機能を期待している
- 《職員アンケート》
 - 防災関連施設や子ども関連施設、観光施設が不足していると感じており、市民サービス機能や観光施設、ホテルなどの宿泊機能への期待が高い

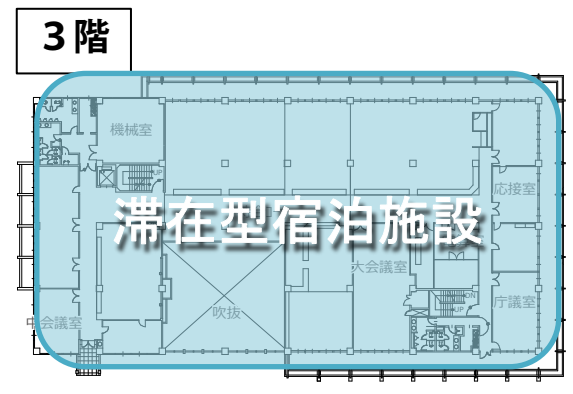
- 人を集める拠点施設
 - ・子どもから高齢者まで集える場
 - ・津波など災害の時に避難できる場所
- ビジネス的活用
 - ・海洋産業の拠点
 - ・見る、食べる、触れる、買う、癒しをコンセプトとした第1次産業から第6次産業をつくる
 - ・地域企業とも連携
- 観光施設として活用
 - ・安く宿泊できる場所
 - ・海の生き物と触れあえる癒しの場
- 医療福祉大学
 - ・薬草などの地域資源を活かす
 - ・予防医療、健康長寿の教育研究を促進する
- 与勝海上公園計画の復活

跡利用の方向性(コンセプト)と跡利用計画案(ゾーニング)

- ◆与勝半島全体で文化を中心とした観光施設
- ◆障害者、高齢者、若者が働ける地域産業の場
- ◆健康と観光を結ぶ場



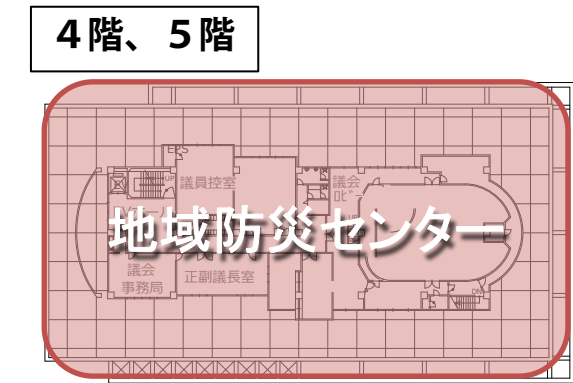
- ・ビジネス集客
- ・インキュベーション施設
- ・ヘルスケアの工場誘致⇒住民の雇用創出



- ・安く素泊まりできる施設



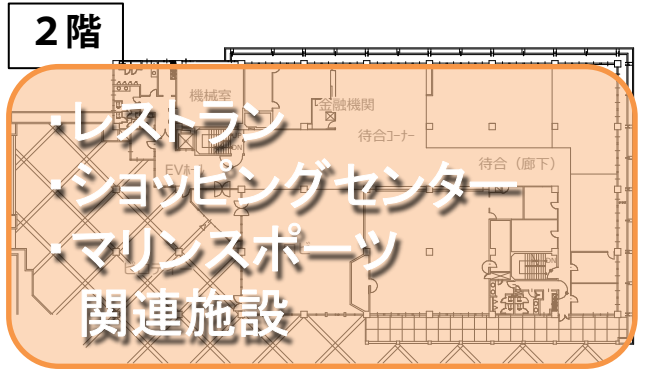
- ・周辺施設と一体となった与勝海上公園の整備



- ・5階を増設し、地域防災センターとして活用



- ・保育所
- ・医療センター



- ・大学の教室
- ・ラウンジ、ICT設備室



- ・ビアガーデン